

会議等議事要旨

会議等の名称	動物実験委員会	開催年月日	令和6年8月21日
開催場所 および時間	会議室 15時10分～15時20分	記録者	松浦 美恵子
会議の出席者	三ツ井臨床研究部長、堤神経内科医師、板野薬剤部長、吉田看護部長、建部事務部長、島村企画課長、中山鴨島支援学校教頭		

議 事

第18回動物実験委員会を開催。

牧研究員より、動物実験に関する動物実験計画書が提出され、その内容の説明があり、全員一致で承認された。

本実験は、DMDモデルマウスであるMdx52における骨格筋組織のチアミンのトランスポート機構障害の有無を検討するとともに、開発中の化合物の効果を検討したい。

牧研究員：長期にてマウスを飼うことは想定していませんが、計画書の効果をみていきたいという事で、動物の飼育をさせていただきたいと思っています。宜しいでしょうか。

三ツ井臨床研究部長：原薬メーカーに化合物を2つオーダーしています。それが効けば筋ジストロフィーの治療薬になる可能性があり、うまくいけば特許申請も考えています。理研のcellbankにDMDモデルマウスの凍結胚があって、今そこからおこして、8-16W例の状態です。その時にコントロールマウス（健常マウス）は業者で飼って、一緒に飼い始めるというスケジュールを考えております。

建部事務部長：いい結果がでなかった場合は、これは何もならないという事ですか。

三ツ井臨床研究部長：先に培養細胞で検討してからマウスに投与するという事になります。バイオ細胞の状態で効果があるという事になれば、うまくいくと思っています。ですが、研究ですからうまくいかないという事も考えられるけれど、有害性に関しては問題ないと思っています。Keyになるデータは当院で取りたいと思っています。

島村企画課長：実験の実施期間は2026年3月まででいいでしょうか。

三ツ井臨床研究部長：はい、そうですね。進捗によって前後しますが、だいたいそのくらいで考えています。

三ツ井臨床研究部長：では、以上にて承認とします。